

樹を種^ううる者は必ずその根を培^{つちか}い
徳を種^ううる者は必ずその心を養^{やしな}う

王^{おう}
陽明^{ようめい}

神社は心のふるさと

未来に受け継^{うるわ}ごう「美しい国ぶり」

樹の成長を望む者は

根がしっかりと張るよう

初めは余分な枝を刈り取り

根に栄養がいくように育てる

同じように(学問により)

徳を養いたいと望む者は

初めにしっかりと志を立て

余計な事に気が取られない

ようにしなければならぬ

王
陽明

中国、明代中期の儒学者・政治家。
名は守仁、陽明は号。武將として
数々の武功をたて、学者としては
朱子学に批判的な立場をとった。
その思想は「心即理」「知行合一」
などの原理をたて、実践を重んじ
る陽明学の創始者となった。

「お盆」への誘ひ 知識道神

「お盆」とは仏教由来の行事のように
考えられがちですが、正月行事など
と同じように、古くから伝わるわが
国固有の先祖祭りの行事です。
お盆には墓参りをしてオガラという
麻の芯を燃やす迎え火を焚き、先祖
の御霊(祖霊)を家に招き日頃よりお
守り下さる祖霊へ家族で感謝し、ご
馳走を共にいただきます。そして御
先祖にお帰りのいただく時には送り火
を焚いたり灯籠流しをして一年の無
事を祈ります。お盆は日本人にとっ
て大事な行事です。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp>

